

令和7年1月21日 佐藤

～ 世界シェア約50%を誇る区内の印刷機械メーカーの全面協力により実現！ ～

区内企業と連携し、紙幣の偽造防止技術などを紹介する展示を開始

区では、区立ひきふね図書館(墨田区京島1-36-5)にて、昨年7月に発行された新紙幣の記念展示「社会を支えるプリントテクノロジー」を1月17日(金)から2月16日(日)まで開催しています。昨年7月に、新紙幣が20年ぶりに発行され、本区においても新千円札の裏面のデザインに区内出身の絵師、葛飾北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」が採用され、記番号「AA000006AA」の貴重な紙幣が本区に贈呈されたところです。

日本の紙幣は、独立行政法人国立印刷局で印刷されますが、印刷する機械は、区内に本社を構える印刷機械システムメーカー、株式会社小森コーポレーションが製造しています。

今回の展示では、創業100周年を迎えた同社の全面協力のもと、さまざまな技術が集約される「紙幣にまつわる偽造防止技術」の展示に加え、現在39もの国と地域の紙幣印刷に携わり、世界シェア約50%を誇る同社の「プリントテクノロジー」についてもご紹介しています。あまり知られていない「紙幣の秘密」にも触れることができる貴重な展示となっています。

会場では、紙幣に見立てた絵柄を印刷したプリントの裁断前(5枚×8枚)のサンプル版や、パスポートビザで採用されているシースルー印刷(裏から光をかざすことで、表裏の絵柄が一致して完璧な絵柄になる印刷技術)のサンプル版を展示しています。また、印刷技術として、デジタル印刷とオフセット印刷を比較できるよう、それぞれの見本を展示しています。

担当者は「20年ぶりの新紙幣発行の記念展示ということで、普段目にすることができない同社の高度な技術の紹介とあわせて、お借りした貴重な都道府県記念硬貨も展示しています。高い技術力をもつ企業が区内にあるということ、ぜひ皆さんに知っていただきたいです。」と話しています。

区では今後も、図書館の利用者がより楽しめる企画を実施していきます。ぜひご注目ください。

《写真》 展示の様子(1/17撮影)



《概要》 ひきふね図書館

所在地：墨田区京島一丁目36番5号

開館時間：月曜日～土曜日 9時00分～21時00分(こどもとしょじつは9時00分～18時00分)

日曜日・祝日 9時00分～17時00分

休館日：第3木曜日・年末年始・特別整理期間

展示詳細(ひきふね図書館HP)：<https://www.library.sumida.tokyo.jp/infoevent?pid=4804>

《お問合せ》 区立ひきふね図書館 03-5655-2350

お問合せは午後5時までにお願いします。(広報広聴担当 03-5608-6220)